



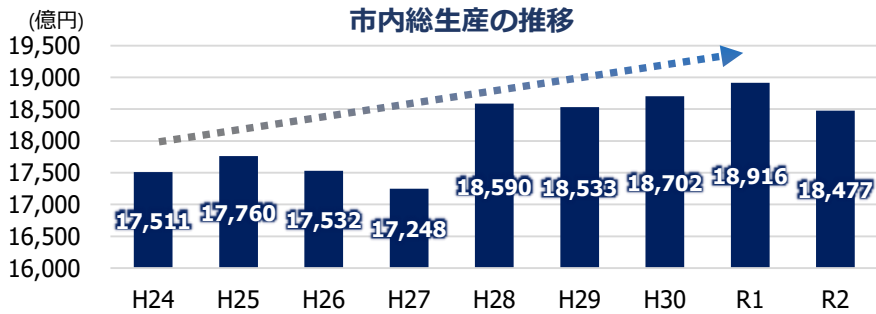
令和6年度予算と主要事業の概要 (重点施策抜粋版)



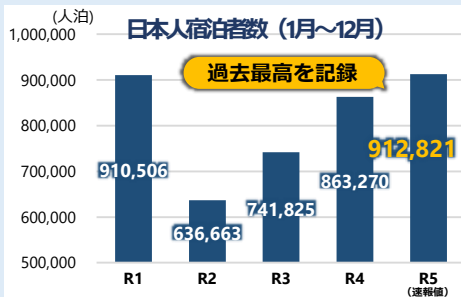
本市の現状と課題① -これまでの取組の成果

第1期・第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略による地方創生の取組の推進

安定した雇用を生み出す 産業が元気なまち



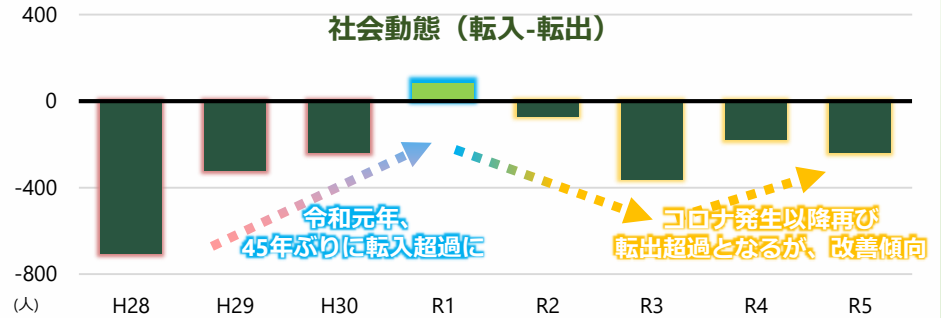
人口減少下においても市内総生産は増加傾向



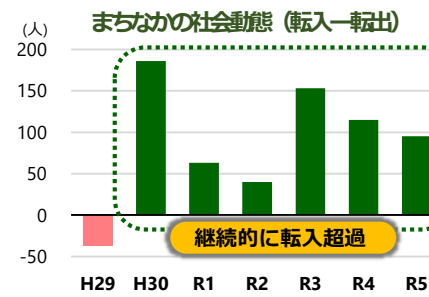
R5年の日本人宿泊者数 (速報値) は過去最大を記録



住みたいと選ばれる 魅力があふれるまち



令和元年、45年ぶりに転入超過を実現



まちなかの社会動態は平成30年以降継続的に転入超過

公共施設の耐震性を確保しつつ、まちなかに賑わい拠点を創出



本市の現状と課題① -これまでの取組の成果

第1期・第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略による地方創生の取組の推進

子供たちが いきいきと育つまち

こども医療費の無償化を拡充し
子育て世帯の経済的負担を軽減

H27.4

入院費助成を
中学校卒業
までに拡大

H28.8

中学校卒業まで
医療費無償化
(所得制限あり)

R4.8

所得制限を撤廃
中学校卒業まで
全ての子供の
医療費を無償化

R5.8

18歳(高校卒業)まで
全ての子供の
医療費を無償化

安全・安心な教育環境の整備を推進

学校空調の設置

全小中学校の普通教室や
理科室等必要な特別教室に設置完了



H26年度 0%

R1年度 100%

トイレの洋式化

全小中学校の第1系統(各階1か所)に
洋式トイレの設置が完了
現在、第2系統完了に向け整備中



H26年度

小学校
23.1%

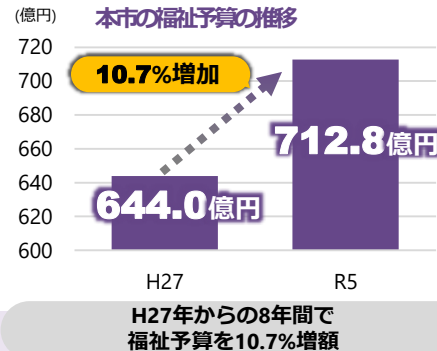
中学校
23.3%

R4

小学校
72.4%

中学校
61.5%

誰もが安心して 住み続けられる持続可能なまち



高齢者・障害者支援や
子育てなど福祉に係る
予算を増額



日常的に利用される生活関連道路の 整備に係る予算を増額

R4 ▶ R5

市単独の道路保全予算を
1.8億円(20%)増



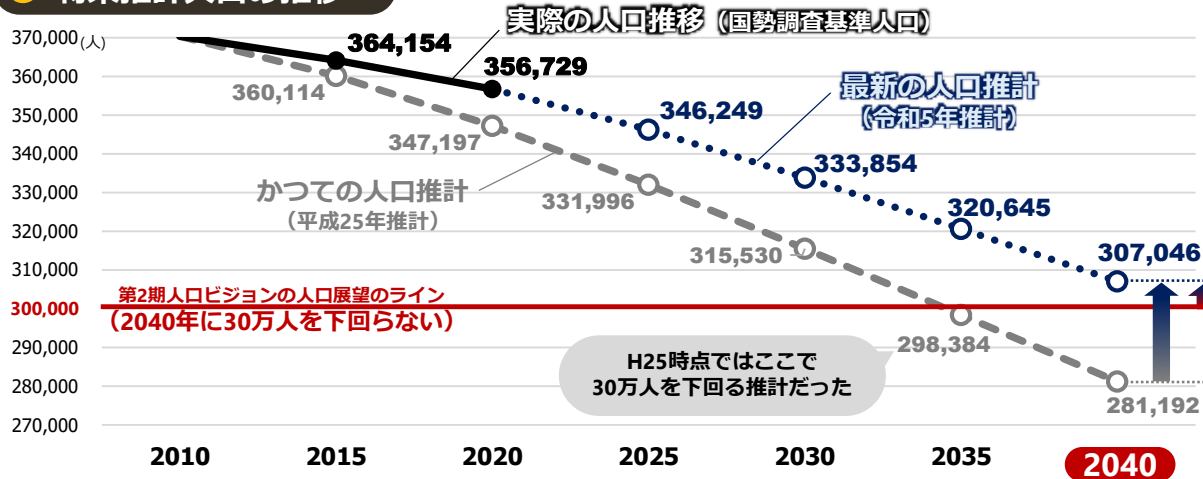
道路が狭く歩行者と車が
混在し危険な状況



道路が狭く車の離合が
困難な状況

本市の現状と課題② -人口推計

将来推計人口の推移



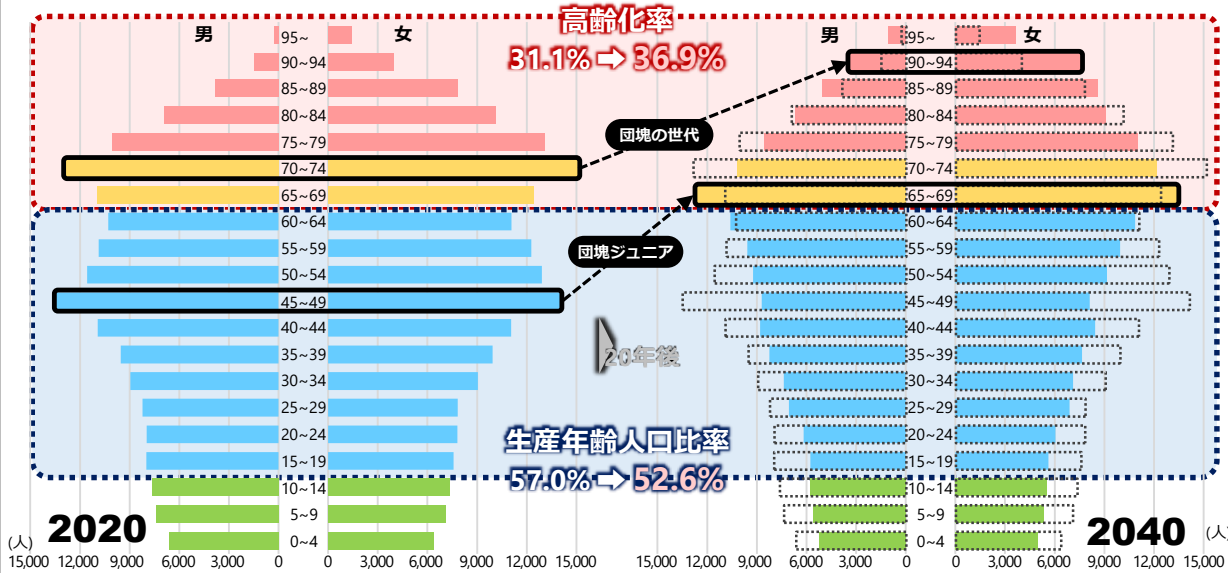
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」より作成

- 国立社会保障・人口問題研究所による平成25年時点での推計では、2040年には本市の人口は30万人を大きく下回る予測だった
- 状況改善に向け、第1期・第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び人口ビジョンを策定し、地方創生の取組を進めてきた

これまでの地方創生の取組により、**2040年の人口推計が25,854人上振れ**第2期人口ビジョンにおける人口展望ラインを超える

今後の更なる改善を目指し 社会増に向けた取組を推進

将来における人口ピラミッドの推計



国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」より作成

- 2040年においては、団塊ジュニア世代が65歳以上となることによる高齢化率の増加・生産年齢人口比率の減少といった人口構造の不均衡が予測される
- 1人の高齢者を1.4人の生産年齢人口で支える状態となっており、労働力不足や社会保障費の増大などの課題が懸念される

将来の人口構造の不均衡を改善するための取組が必要

令和6年度当初予算のポイント

DX・GX投資の活発化や新技術の普及など、社会の変化を追い風としながら人口減少の危機を乗り越え 発展し続ける未来への総合戦略を打ち出すことにより
地方創生の取組を更に前へ

誰もが安心して
暮らせる優しいまち

4つの将来都市像
の実現に向け
施策を組織横断的に展開

ふるさとで
学び働けるまち

子供たちが
いきいきと育つまち

県都として
活力にあふれたまち

令和6年度予算は
地方創生による人口の社会増に向けたラストスパートの予算

誰もが安心して
暮らせる優しいまち

災害に対する備え① -地震・津波に対する備え

南海トラフ地震等による地震・津波への備えとして、能登半島地震への派遣等において得られた知見や新たに見えてきた課題も踏まえ、家屋の倒壊を防ぎ、あるいは生存空間となる隙間を作り出すための取組への支援、確実に身を守ることができるよう避難所となる学校の予防改修等を行います。加えて、災害発生後の緊急輸送ルート確保のため、道路啓開の体制強化を図ります。

地震から身を守る

●住宅の耐震診断・耐震化の自己負担費用を軽減(継続) 151,220千円 住宅政策課



診断、設計・改修等の各段階での耐震化を推進

※各種助成には、一定の条件あり

Step 1 耐震診断

木造住宅で一定の条件を満たしたものを
無料で耐震診断士を派遣

非木造住宅で一定の条件を満たしたものを
耐震診断費を助成(最大8万9千円)

Step 2 耐震化

診断の結果、耐震性が低い場合

耐震改修又は現地建替に伴う設計費・工事費の助成(最大116万6千円)

一定の条件を満たした場合
リフォーム工事費の助成(最大10万円)

市独自支援

耐震ベッド・耐震シェルター設置費の助成(最大26万6千円)

●家庭でできる地震対策の推進 地域安全課

- 家具転倒防止用の固定金具取付(継続) 2,495千円
- 感震ブレーカー設置費の助成(継続) 700千円

●不良空家の除却費用を助成(拡充) 31,000千円 空家対策課

[内示資料No.3]

空家対策課

財産管理人の申立てが必要な所有者不明不良空家に対する助成を新たに追加
助成対象者：所有者不明建物を解体する方(隣人・自治会等)

津波からの避難

●避難所(学校)の予防改修等 1,566,091千円 教育施設課 2月補正

避難所である学校の屋上防水などの予防改修や外壁改修を実施し、安心安全な避難所を整備

外壁改修：対応が必要な20校全てを改修
予防改修：令和6年度は8校改修



●震度感知式鍵ボックスの案内板設置による周知(新規) 677千円 [内示資料No.1]

総合防災課

津波浸水想定区域等の41避難所に設置済の震度感知式鍵ボックスを周知



案内板のイメージ

断水への備え

●緊急時用ろ過装置車を導入 総合防災課 (新規) 11,440千円 [内示資料No.2]

断水時にプール等の水をろ過し、生活用水を確保



ろ過装置車のイメージ

道路啓開の体制強化

●関係機関、関係団体との連携強化(継続)

道路管理課
技術管理課

県道路啓開協議会と連携し、関係機関と円滑な調整を実施するとともに、迅速かつ的確な道路啓開作業が実施できるよう関係団体等との協力体制を強化

災害に対する備え② -台風や集中豪雨に対する備え

令和5年6月2日の線状降水帯発生に伴う豪雨により甚大な浸水等の被害を受け、新たに見えてきた課題を踏まえ、内外水対策として、雨水排水ポンプの機能強化を図るとともに、河川の氾濫を未然に防ぎ被害を軽減するため、準用河川の改修等を行います。加えて、国営農地防災事業による農業用排水路等の改修を実施し、農地防災を図ります。

内外水対策の推進

● 雨水排水ポンプの機能強化 河川港湾課

(継続) 14,960千円 12月補正
40,700千円

令和5年度から引き続き、羽鳥橋排水ポンプ及び水軒川排水ポンプの機能強化を実施



● 亀の川雨水ポンプ場の実施設計

(継続) 67,000千円 下水道施設課

令和5年度に実施した「亀の川第2排水区事業効率化検討業務委託」の結果を踏まえ、実施設計に着手



河川の氾濫を防ぐ対策

河川港湾課

● 流域治水の推進 (継続)

河川の流域全体のあらゆる関係者(国・県・市・企業・住民)が協働して流域全体で維持可能な治水対策を推進

● 紀の川の治水対策の推進 (継続)

新六箇井堰の切り欠きの確実な実施、事業実施後の効果検証などについて、国に働きかける

● 市指定の河川(準用河川)の改修

(継続) 102,950千円

永山川準用河川改修事業における永山川護岸整備工事を令和5年度に引き続き実施

農地防災の推進

耕地課

● 国営農地防災事業の推進 (継続)

国が事業主体となり県・市・土地改良区の連携のもと、本市から紀の川市にまたがる地域において排水対策として農業用排水路や排水機等の改修を実施



名草排水機場

災害に対する備え③ -事前準備の充実・強化

あらゆる災害に備えるためには、事前準備の徹底が必要となるため、迅速かつ確実な災害関連情報の伝達手段の強化、定期的な訓練の実施・強化、受援体制の充実、備蓄品・物品等の計画的な整備、3D都市モデルを活用した防災意識の向上支援等により、あらゆる視点から災害に対する備えを実施し、社会全体で災害に備える安全・安心な社会の実現を目指します。

情報伝達手段の強化

● 防災ラジオの貸与 地域安全課

(拡充) 9,962千円 【内示資料No.4】

令和5年度の貸与条件を緩和し、最大1,000台貸与



● 災害情報伝達手段の強化 総合防災課

(拡充) 20,524千円 【内示資料No.5】

防災行政無線その他情報連携に係るシステム機器の維持管理に加え、災害発生時の災害関連情報を地図上に一元的に可視化し、市のHPやSNSで発信

発信する地図のイメージ



防災意識の向上支援

● 都市空間情報デジタル基盤の活用

(拡充) 9,900千円 【内示資料No.6】 都市計画課

災害リスクを直感的にわかりやすく可視化した3D都市モデルの活用の推進に加え、新たなユースケースを開発

3D都市モデルのイメージ



● 事前復興計画に基づく復興事前準備の推進と周知 (継続) 58千円 総合防災課

受援体制の充実

● 受援計画の見直しによる受援体制の充実 (新規) 総合防災課

他都市等からの人的、物的支援を円滑に受け入れられるよう受援計画の見直しを図る

備蓄品の整備

● 災害時用備蓄品の整備 (継続) 5,856千円 地域安全課

大規模災害時に備え、食料や飲料水等を計画的に備蓄

● 避難所等への物品等の整備 (継続) 10,829千円 総合防災課

下水道直結型仮設トイレ、その他避難場所運営物品等の整備、維持管理

訓練等の充実・強化

● 災害対応訓練の充実強化 (拡充) 591千円 【内示資料No.7】 総合防災課

災害対策本部訓練、避難所運営訓練、水防訓練をはじめ、大規模津波防災総合訓練や職員参集訓練など計画的な訓練を推進

● 個別避難計画の作成 (継続) 高齢者・地域福祉課

災害時に自力避難が困難な方の名簿提供を通じ、地域の共助による避難支援等を推進するため、個別避難計画を作成

ライフラインの安定化

紀の川北部地域への安定供給や災害時のリダンダンシー確保のため、令和5年度から実施している紀の川横断部の送水管の複線化を促進するとともに、六十谷浄水場（工業用水道）の耐震化等に併せ、一部施設の共用による北部浄水場の建設計画を推進します。加えて、老朽化した配水管路の耐震化等を計画的に進めます。



安定給水の確保

水道企画課

● 紀の川北部地域への安定供給

・ 紀の川横断部送水管の複線化

(継続) 69,018千円

令和6年度 実施設計完了

令和7年度 工事着手

令和9年度 完成(予定)

引き続き、紀の川北部地域への安定供給と自然災害に備えるため、北部浄水場の建設を計画
事業期間 令和10年度～令和20年度(予定)



● 六十谷浄水場（工業用水道）再構築にかかる基本設計 （新規）27,683千円

工業用水道の安定供給を図るため、老朽化施設の耐震化を含めた更新及び統廃合に向けた基本設計（令和6年度～令和8年度予定）を実施

管路の耐震化

管路整備課

● 配水管路整備（拡充）2,763,939千円

老朽化した配水管の更新、耐震化、各水系間の相互連絡管等の整備

令和5年度当初予算に比べ、約4.2億円増（約18%増）

災害に備えた道路の整備

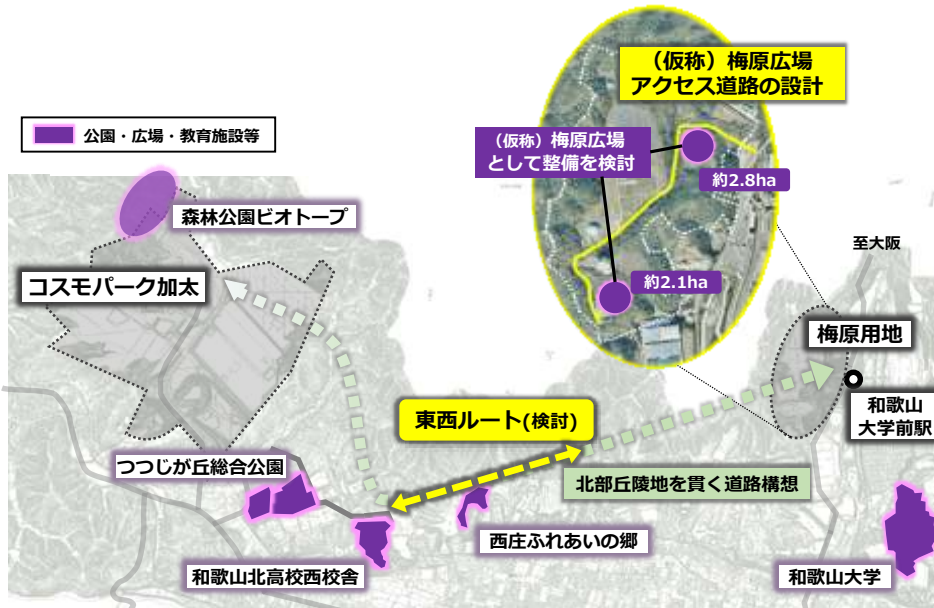
災害時におけるリダンダンシーの確保のため、災害に強い高台エリアの仮設住宅用地の確保や道路整備を進めます。また、災害への備えとして、緊急車両等が円滑に通行できるよう緊急避難路の整備や狭あい道路の拡幅を行うなど、市民の命と生活を守るため、道路整備を進めます。

● 災害に強い高台エリアの道路整備の検討

災害時における西脇山口線のリダンダンシーの確保等、防災に寄与する道路の計画及び事業化に向けた調整を行う

- 北部丘陵地の道路計画（東西ルート）検討（継続） 道路政策課

- (仮称) 梅原広場アクセス道路の設計（新規）27,100千円 道路政策課
河川港湾課



● 緊急避難路の整備（継続）29,000千円 道路管理課

災害時における緊急車両等の通行を円滑にするため、側溝や水路を暗渠化して道路幅員を拡幅

道路建設課 / 道路管理課

● 生活関連道路の保全（継続）1,161,097千円

災害の発生を未然に防ぎ、安全で快適な道路環境を確保するための舗装修繕等の実施を大幅に拡充し、併せて交通事故を未然に防止するための交通安全施設の新設、補修等を実施



(施工前)



(施工後)

建築指導課

● 狭あい道路拡幅整備費の助成（継続）1,200千円

安全な住宅市街地の形成に加え、災害時の避難路としても利用できるよう狭あい道路（建築基準法第42条第2項に規定する道路）の拡幅後退部分の舗装整備に係る費用を助成

人生100年時代に向けた健康づくり

高齢者の通いの場を中心とした介護予防・フレイル対策や生活習慣病等の疾病予防を図るとともに、フレイル状態に陥りやすい高齢者に対し、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援を医療専門職が積極的に関わり、高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施することで、高齢者が住み慣れた地域で可能な限り、自立した生活と社会参加ができるよう環境づくりを推進します。

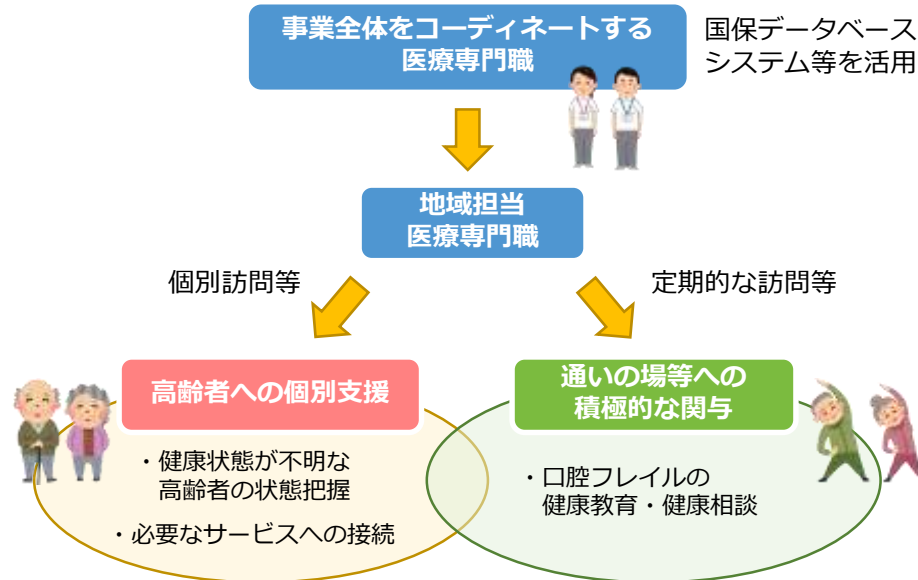
健康寿命の延伸

地域包括支援課

● 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

(拡充) 22,738千円【内示資料No.10】 保険総務課

健康状態不明者等への支援と通いの場でのフレイル予防の取組を実施
令和6年度から市内全15圏域まで拡大



● 短期集中型通所サービス（新規）4,950千円【内示資料No.11】

要支援認定者及び生活機能が低下している高齢者に対し、原則3か月、リハビリ専門職等が集中的な支援を行うことで生活機能の改善を推進

地域包括支援課

● 自主グループの育成・交流（継続）7,761千円

・ WAKAYAMAつれもて健康体操

週1回以上、5人以上で活動するグループに対し、リハビリ専門職を派遣し、活動を支援することで、グループの主体的な活動へつなげる

・ わかやまシニアエクササイズ

加齢に伴う心身機能の低下等によるフレイル予防のため、住民主体の通いの場の充実を図る

運動のモチベーションを高め、未永く活動を継続できるよう支援



高齢者・障害者の生活安心サポート

高齢者が外出しやすい環境をつくり、社会への参加を促すとともに、一人暮らしの方の安全・安心につなげます。また、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けてきめ細かな支援に取り組むなど、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会を目指します。

生涯安心して暮らせる社会づくり

● 高齢者に対する外出支援

高齢者・地域福祉課

・和歌山電鐵貴志川線70おでかけ回数券の導入

(新規) 5,000千円 【内示資料No.15】

70歳以上の高齢者に利用区間に関係なく利用できる10枚綴りの回数券を1,000円で販売



・元気70パスの交付(継続) 104,405千円

70歳以上の高齢者に、市内路線バスを1回100円乗車できるバスカード、もしくは、市営5か所で割引になる駐車場利用券いずれかと公衆浴場利用回数券を交付

● 高齢者の見守りサービス

高齢者・地域福祉課

・ひとり暮らし高齢者の見守りシステム(新規) 21,552千円

ペンダント型送信器の貸与や人感センサーの設置により、非常時に警備会社の職員が駆け付けられる体制を構築

・IoT/ICTを活用した見守り(継続) 212千円

地域包括支援課

事故の未然防止、家族の負担軽減のため、見守り端末を3か月間無料で貸与

高齢者・地域福祉課

● 高齢者補聴器購入費助成(継続) 1,500千円

聴力低下のある65歳以上の市民税非課税世帯を対象に上限2万円で助成

障害者を支える環境づくり

● 重度障害者等への就労支援

障害者支援課

(新規) 1,256千円 【内示資料No.16】

視覚障害者や重度障害者が企業等で働くために必要な支援(通勤時の支援、職場での身体介護など)にかかる費用を補助

● 就労移行支援利用者交通費助成

障害者支援課

(新規) 510千円 【内示資料No.17】

就労移行支援事業所に通所する障害者に対して、通所の際にかかる交通費の一部を助成

● 施設のバリアフリー化

高齢者、障害者等の移動や施設の利用における利便性・安全性の向上を図る

・河南総合体育館に障害者用駐車場及び屋根を整備

(拡充) 7,029千円 【内示資料No.18】

スポーツ振興課

・南保健センター障害者用駐車場への屋根設置

(拡充) 7,051千円 【内示資料No.19】

地域保健課

「脱炭素」社会に向けた持続可能な環境づくり

公共施設への再生可能エネルギー設備の導入を進めるとともに、市民事業者に対しても導入を支援するなど、市全体で脱炭素への取組を進め、安心して暮らし続けられる未来社会の実現を目指します。

再生可能エネルギーの普及促進

環境政策課

● 太陽光発電設備等の導入

- ・ 市民・事業者太陽光発電設備等の導入支援
(継続) 73,700千円

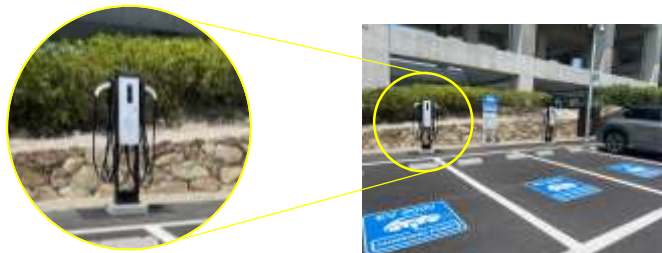
市民・事業者を対象に、太陽光発電設備や家庭用蓄電池、エネファームの導入を支援



- ・ PPA制度を活用した公共施設への太陽光発電設備の導入 (新規)

● EV (電気自動車) の普及促進

- ・ 住民向けEV導入支援 (継続) 9,000千円
再生可能エネルギーを導入する個人宅を対象に、国のCEV補助金に15万円を上乗せ補助し、EVの導入を支援する
- ・ 民間事業者による公共施設へのEV充電設備設置にかかる場所の提供 (新規)



環境にやさしい堆肥の利用

農林水産課

● し尿・浄化槽汚泥を活用した農業振興

(新規) 11,275千円 [内示資料No.20]

R5に実施した汚泥堆肥化実証実験事業の検証をもとに、し尿・浄化槽汚泥を活用した環境にやさしい農業の取組を推進



汚泥の処理

廃棄物発生

消費



汚泥の堆肥化
有機質肥料製造

遊休農地等の再生
化学肥料使用削減



循環型経済の形成

スマートシティの推進

民間事業者との連携・共創によりまちのスマート化や事業者のDXに向けた取組を進めるとともに、行政のDXにより、市民の行政手続に係る利便性の向上を図るなど、先端技術の活用により新たな価値を創造するスマートシティの取組を推進することで、豊かで住みよいまちの形成を目指します。

まちのスマート化

●スマートシティ推進プラットフォーム 企画政策課 を通じたまちのスマート化（継続）1,725千円

スマートシティ推進プラットフォームの分科会を通じて、多様なステークホルダーと積極的に連携し、先端技術等導入によるウェルビーイングな社会を推進

分科会における取組の例

- ・新たなモビリティの導入による観光の回遊性向上
- ・デジタル人材の育成 など



事業者のDX

●デジタルツールの導入支援（継続）3,025千円

IT・IoTツール、AI又はロボットの導入を支援し市内中小企業者の生産性を向上させるため、展示会の開催及び導入の補助を実施

●デジタル人材の育成（新規）6,982千円 【内示資料No.21】

企業の生産性向上に資するデジタル人材を育成するとともに市内企業への就職を促進するため、求職者へのデジタルスキル習得研修及び伴走型の就職支援を実施

行政のDX

●行政手続のオンライン化（継続）3,685千円 デジタル推進課

マイナンバーカードを活用した本人確認や手数料のキャッシュレス決済などを活用し、一定の利用がある市民向け手続きについてオンライン対応可能な行政手続きのオンライン化を実施

令和6年度末までに

手続件数の多い¹市民・事業者向け手続の約**63%**^{*2}をオンライン化予定

*1 年間処理件数が1,000件以上のもの

*2 手続件数ベース

●議場等のWi-Fi環境整備（新規）1,663千円 【内示資料No.22】 議会政策課

●電子決裁・文書管理システムの導入 【内示資料No.23】

（新規）242,570千円 ※令和7年度から令和11年度までの債務負担 総務課

文書事務のデジタル化による事務の効率化、公文書管理の適正化を図るとともに、職員の多様な働き方や更なるデジタル化を見据えた業務の改革に対応できる環境を整備

●ペーパーレス化の推進（継続）3,626千円 デジタル推進課

庁内会議のペーパーレス化に向けた環境整備を進める

目標

コピー用紙調達枚数
（R2～R4平均比）

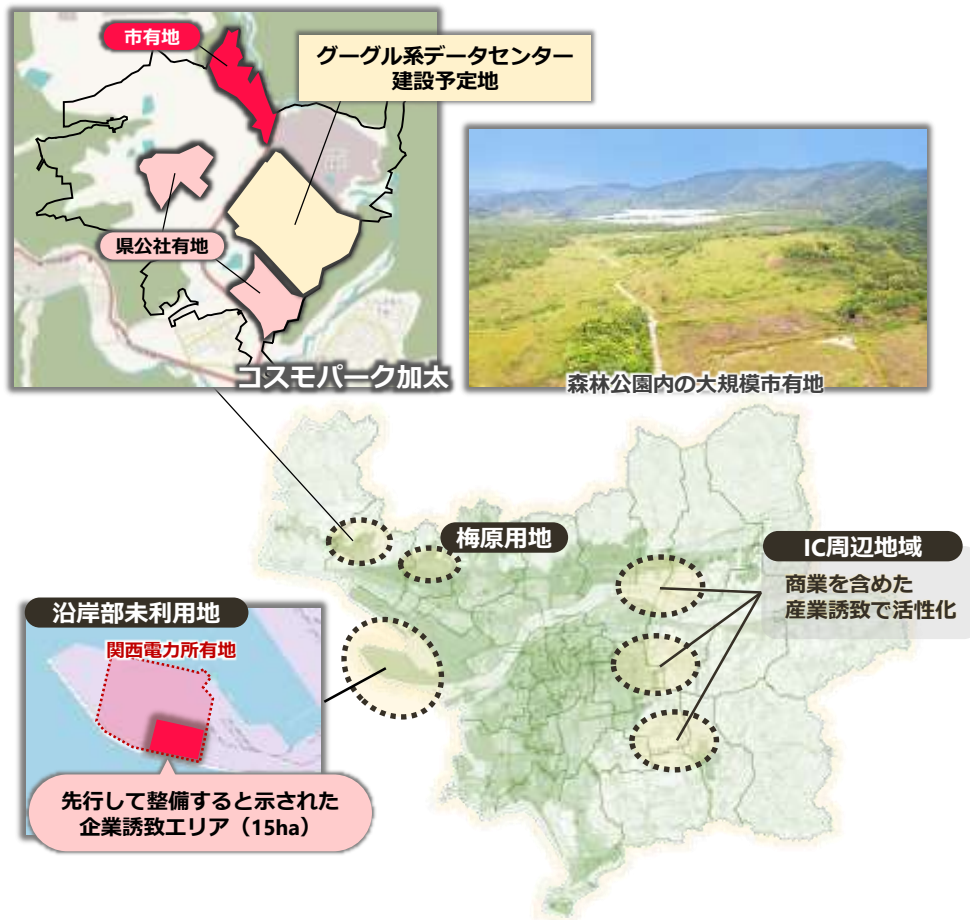
R6
20%
削減

R7
40%
削減

ふるさとで
学び働けるまち

発展を牽引するGX産業等の誘致

今後の日本を支える産業として半導体や蓄電池等の需要が急拡大する中、コスモパーク加太へのグーグル系データセンターの立地や、未利用状態であった関西電力所有の埋立地への企業誘致の動き出しなど、今までにない好機が到来しています。それらを追い風に、本市の更なる発展を牽引し、成長の起爆剤となるような先端産業の誘致を加速化させます。



大規模用地を活用した企業誘致

産業政策課

●大規模用地へのリーディング産業誘致（新規）

コスモパーク加太等の大規模用地への誘致に向け、半導体や蓄電池等の関連企業について調査等を実施

●沿岸部未利用地（西防波堤沖埋立地）への企業誘致促進（新規）

関西電力所有の西防波堤沖埋立地における、事業者によるGX産業等の誘致を促進

●企業立地促進奨励金制度（継続）177,472千円

●企業立地アドバイザーの活用（継続）460千円



市内産業への人材確保と企業の生産性向上

設備投資に対する支援やデジタル技術の活用促進のための取組を推進し、労働生産性向上を後押しすることで、中小企業をはじめとする市内企業の成長につなげるとともに、市民の所得向上を図ります。また、産業を支える人材確保につながる人と企業のマッチングや女性活躍のための取組を推進し、誰もがいきいきと働ける、産業が元気なまちを目指します。

市内企業の生産性向上

産業政策課

● 所得向上補助金（拡充）20,000千円

企業の生産性向上や従業員の所得向上を促進するため、従業員の賃金向上を表明して設備投資を行った場合、取得価格の一部を補助。R6より、投資額や賃金増加に係る要件を緩和するとともに、2024年問題に対応するため、**運送業を対象業種に追加**



● デジタルツールの導入支援（再掲）3,025千円

IT・IoTツール、AI又はロボットの導入を支援し市内中小企業者の生産性を向上させるため、展示会の開催及び導入の補助を実施

産業を支える人の確保

【内示資料No.21】

● デジタル人材の育成（再掲）6,982千円

産業政策課

企業の生産性向上に資するデジタル人材を育成するとともに市内企業への就職を促進するため、求職者へのデジタルスキル習得研修及び併走型の就職支援を実施

● わかやま就職応援プロジェクト（継続）7,645千円

産業政策課

合同企業説明会やインターンシップ、就活交流会等の事業を対面形式やオンライン形式で実施し、学生と企業のマッチングを図る



● 働く女性の活躍推進（継続）2,192千円

産業政策課

各種セミナーや相談ブースを併設した合同企業説明会（託児付き）を実施



● 奨学金の返還支援（継続）2,484千円

総務課

卒業後に市内の医療、福祉・介護分野などの企業に専門的職種で就職する学生に対し、企業と市が連携して奨学金の返還を支援

● 起業促進・起業家支援（継続）

商工振興課

市内での起業促進のため、各創業支援機関と連携し定期的なセミナーや相談会を実施するほか、金融機関等と連携し、融資に対する利子補給・保証料軽減を実施

更なる発展の基盤となる道路網

産業の活性化や企業誘致の促進、大規模災害時の広域防災拠点への高速道路アクセスの充実を図るためには、広域道路ネットワークが必要となるため、和歌山環状北道路等の早期事業化を国へ要望します。また、市の基幹道路である都市計画道路の整備等を進め、道路ネットワークの構築を図ります。

●和歌山環状北道路の早期事業化・和歌山環状道路の実現に向けた働きかけ (継続) 2,181千円 道路政策課

国への要望、国・県・市の勉強会等を通じて、早期事業化を働きかけ

●都市計画道路の整備 (継続) 401,380千円 道路建設課

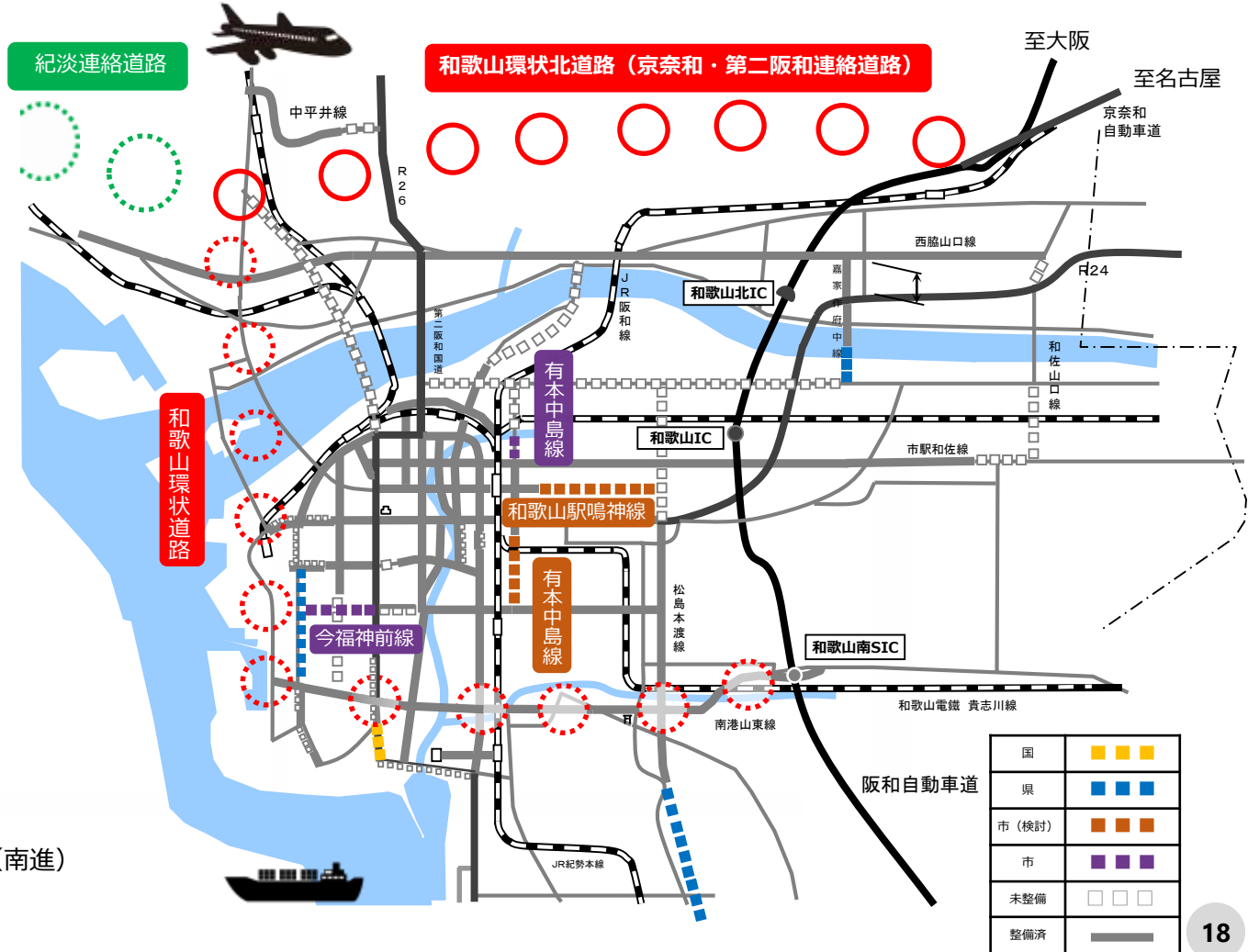
都市計画道路のうち重点整備区間道路の整備を促進

令和6年度 今福神前線、有本中島線（北進）

●都市計画道路の検討 (継続) 道路政策課

未整備路線の都市計画道路について、効率的かつ効果的な事業実施を引き続き検討

主な検討路線 和歌山駅鳴神線、有本中島線（南進）



強い農水産業づくり

地域を支える農水産業において、遊休農地の解消や担い手不足の解消を図るため、市外からの新規就農者等も含めた育成確保の取組を推進するとともに、農水産物の産地化や、ブランド化に向けた付加価値の向上のための取組を進めます。また、環境面等にも配慮するなど、持続的な農水産業の推進に向けた取組を支援し、強い農水産業づくりへとつなげます。

農地の保全

- **地域計画の策定（新規）** 【内示資料No.25】 **5,883千円** 農林水産課
農業委員会事務局
農地の集約化に向けた取組を進めるため、目指すべき地域農業の将来の在り方や農地利用の姿を明確化する地域計画を策定
- **遊休農地の解消（継続）** **700千円** 農林水産課

農水産業の担い手育成・確保

- **次世代を担う新規就農者の育成支援**
 - **農業経営発展支援事業補助金（継続）** **11,250千円**
就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取組を支援
 - **農業経営開始補助金（継続）** **6,000千円**
農業経営開始の資金となる補助金を交付



- **市民農園の促進（継続）** **1,000千円**

- **漁業の担い手育成支援（継続）** **7,930千円**

新規漁業就業者の育成・確保及び漁村活性化に向けた事業に取り組むことで、将来にわたり活力のある漁村づくりの支援を行う



環境にやさしい・持続可能な農水産業の推進

農林水産課

- **し尿・浄化槽汚泥を活用した農業振興（再掲）** 【内示資料No.20】 **11,275千円**
R5に実施した汚泥堆肥化実証実験事業の検証をもとに、し尿・浄化槽汚泥を活用した環境にやさしい農業の取組を推進



- **環境保全型農業直接支払交付金（継続）** **600千円**
有機農業・堆肥の施用等に取り組む農業者に対し経済的支援を行う

- **つくり育て管理する漁業の推進（継続）** **4,540千円**
水産資源の増殖を目指し、中間育成と種苗放流を行い、とる漁業から育てる漁業への転換を推進

稼げる産地化・ブランド化の推進

農林水産課

- **野菜等の産地化の推進（継続）** **1,250千円**
非かん水期の農業用水を確保するための打ち抜き井戸の設置費用を助成
- **魚礁の造成による沿岸漁業の整備（継続）** **38,400千円**
マダイ等の幼稚魚の成育環境の保全・創造を図り、漁場の生産力を高めるため、加太・友ヶ島周辺海域に魚礁を設置

和歌の聖地・和歌の浦を核とした歴史探訪

万葉歌人・山部赤人が和歌の浦を歌に詠んだ724年（神亀元年）より1300年の節目を迎えるにあたり、地域と連携しながら万葉の聖地・和歌の浦の魅力在国内外に発信する取組を推進します。また、9月に開館する和歌の浦魅力向上施設の活用や、日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」としての風致向上を通じ、観光地として更なる魅力向上を図ります。

和歌の聖地・和歌の浦を核とした歴史探訪

文化振興課

● 万葉1300年・和歌の聖地の魅力発信

【内示資料No.26】

● 和歌の聖地・和歌の浦 誕生1300年記念事業（新規）4,502千円

和歌の聖地・和歌の浦の歴史が始まり1300年の節目を迎えるにあたり開催される記念大祭に交付金を交付するとともに、市主催の関連イベントとして短歌ワークショップを開催

【内示資料No.27】

● 特別展「聖武天皇と紀伊国（廃称）」の開催（新規）5,202千円

和歌の聖地・和歌の浦の歴史が始まり1300年の節目に、その契機となった聖武天皇の和歌浦行幸とその後に華開いた歴史と文化を取り上げる特別展を博物館で開催



紀の国わかやま文化祭2021
冷泉家による和歌披講の様子

和歌の浦の歴史的風致向上

【内示資料No.28】 都市再生課

● 和歌の浦魅力向上施設の開館（新規）2,623千円

和歌の浦の歴史・文化の情報発信、周辺施設の観光案内、イベントなどの体験交流、滞在休憩の機能を備えた、和歌の浦周遊の拠点となる施設として開館



令和6年9月開館予定

施設名称募集中
2月20日（火）まで

詳細は
HPから



● 観光遊歩道整備による周遊環境の向上（継続）

和歌の浦エリアの周遊を促せるよう、既存遊歩道を活用するとともに新たな整備・ネットワークの構築について検討

観光課



● 玉津島神社境内修景整備（継続）2,718千円

文化振興課

地域資源（食・自然・文化等）を生かしたツーリズムの推進

本市の有する豊かな自然や文化、食などの魅力を、観光資源として更に磨き上げるとともに、国際的なゲートウェイである関西国際空港等からの好アクセスや宿泊施設等が充実している環境を生かしたツーリズムを造成することで、誘客促進と観光消費の拡大を図ります。



自然・文化等を生かした体験×食の魅力でツーリズムを推進

和歌の浦・みなとオアシスエリア

- **和歌祭・和歌浦花火大会** (継続) 5,317千円 観光課

本市の伝統文化「和歌祭」を未来に継承するとともに、花火大会の定着を図るなど、ツーリズム化も見据え更なる誘客と消費拡大を目指す



- **港まつり花火大会** (継続) 9,172千円 商工振興課

- **スポーツツーリズムの推進** (継続) 24,393千円 スポーツ振興課

豊かな自然等の観光資源を活かし、和歌山ジャズマラソンやサイクリングイベントなどを中心とするスポーツツーリズムを推進

- **市場南用地の活用検討** (継続) 中央卸売市場

加太エリア

- **日本遺産「葛城修験」** 観光課
の魅力発信 (継続) 252千円



- **野奈浦棧橋の架け替え** (継続) R6完成予定 観光課
・友ヶ島潮流調査 8,228千円

東部エリア

- **四季の郷公園の活用推進** (継続) 36,842千円 農林水産課

更なる魅力の創出を図る等、観光拠点としての充実を目指す



イメージ図/施設レイアウトは変更予定

令和6年夏、
四季の郷公園に
グランピング施設が完成予定

- **熊野古道の活用・魅力向上** (新規) 1,815千円 【内示資料No.29】 文化振興課

「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録20周年を迎えるにあたり、熊野古道の魅力向上を目的に、紀伊路の案内動画の作成やウォーキングイベントを実施

大阪・関西万博開催を契機とした誘客強化

2025年の大阪・関西万博を契機とし、インバウンドを含めた観光客の本市への来訪・宿泊を促進します。県外へのPR強化や旅行会社等を通じたツアーの造成により誘客の強化を図るとともに、民間との連携を高めて魅力ある観光コンテンツの創出・磨き上げを行うことで、観光消費の拡大にもつなげ、“稼げる観光”化を推進します。

魅力あるコンテンツの造成

【内示資料No.30】 観光課

●稼げる観光コンテンツ創出支援（新規）3,146千円

万博開催を契機とし、稼げる観光コンテンツの充実を図るため、様々なノウハウ・アイデアを持つ民間事業者が積極的にコンテンツを造成できる仕組みとして補助金を創設



万博・インバウンド向け
誘客コンテンツ

イルミネーション
等とのコラボ

既存イベント
等の時期集約

民間のアイデアに対し初期投資を支援し
観光消費の拡大につながるコンテンツを造成

観光誘客・PRの強化

●旅行会社等への営業活動強化

（拡充）1,317千円 【内示資料No.31】 観光課

各エリアのエージェント等への情報提供・意見交換を強化し、本市を目的地としたツアーの造成を促進

●和歌山城のPR強化（拡充）1,312千円

【内示資料No.32】 和歌山城
整備企画課

「お城好き」をターゲットに絞った効果的なPRを行うため、新たに日本最大のお城イベントである「横浜お城EXPO」に出展

●紀州おどり「ぶんだら節」 を活用した誘客促進

（継続）9,900千円 観光課

踊りに参加する仕掛けづくりや体験の融合、滞留拠点の創出などにより、観光誘客促進を目指す



観光客受入体制の構築

●観光案内看板の改修（新規）2,623千円

【内示資料No.33】 観光課

老朽化した観光案内板の更新を行うとともに多言語化を実施

シティプロモーションと誇りの醸成

各メディアやSNSを活用し、他の都市にはない和歌山市の魅力を発信するシティプロモーションをこれまで以上に推進します。また、全国規模のイベントなどを通じて和歌山市ならではの取組を進めることで、ローカルファーストを推進し、市民が誇りと愛着を持てると同時に、交流・関係人口となる和歌山ファンを獲得し、住みたいと選ばれるまちを目指します。

市外に向けたPRの強化

【内示資料No.34】

●首都圏におけるプロモーション (新規) 3,908千円 広報広聴課

「和歌の聖地」としての短編動画を用いた東京駅・品川駅・港区公共施設でのPRや北区と連携した本市ゆかりの地を巡る周遊キャンペーンを展開



品川駅自由通路でのPRイメージ

●地域活性化起業人の活用 (継続) 5,618千円 移住定住戦略課

大都市圏の民間企業からの人材受け入れにより、「食」を通じた交流・関係人口の拡大と移住定住の推進につなげる

●移住フェア等への出展 (継続) 1,328千円 移住定住戦略課

様々な相談を一括して受け付けるワンストップパーソンを中心に各種移住フェア等への参加を行い、本市の魅力をPRし、希望に沿った提案等を実施



市民が誇れるまち／和歌山ファンの獲得

広報広聴課

●市民が誇れるまちの発信・プロモーション (継続) 500千円

・全国ネットのテレビ番組等の活用

農水産物を取り上げてもらえるグルメ番組や、和歌山市を舞台にしたドラマ等の活用により、魅力の発信とパブリックイメージ向上につなげる

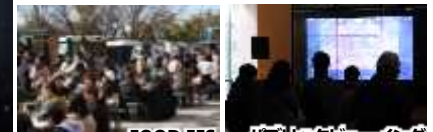
・知名度の高い大会・イベント等を通じたプロモーション

TGC和歌山のような、市民が誇りと愛着を感じられ全国に向けて魅力を発信できる大規模イベント等の更なる活用を検討



TGC WAKAYAMA 2024

約8,400人 来場
約5,400人がFOOD FESに参加
約93万人がライブ配信を視聴 ※延べ数



FOOD FES パブリックビューイング (わかちか広場)

©oomiya presents TGC 和歌山 2024

外国人にも住みやすい環境づくり・国際交流の推進

和歌山市に在留する外国人数が過去最高になっていることを踏まえ、日本語教育等をはじめとした支援を推進し、外国人にとっても暮らしやすい環境づくりを進めることで、定住人口の増加にもつなげます。また、経済・文化はじめ様々な面でのグローバル化が進む中、異文化理解や諸外国との交流を充実させることにより、共生社会の実現に向け取り組みます。

日本語学習の支援

●外国人留学生の派遣（継続）83千円 学校支援課

日本語支援を要する児童生徒が抱えている不安について、外国人留学生が児童生徒の母語で教育相談を実施

●日本語支援ボランティアの配置

（継続）1,827千円 学校支援課（子ども支援センター）

日本語支援を要する児童生徒に支援ボランティアを派遣しサポート

●夜間中学の設置（新規）2,968千円

【内示資料No.37】

教育政策課
学校支援課
学校教育課

様々な理由により中学校を卒業していない方や本国で義務教育を修了していない外国籍の方などが学ぶことができる夜間中学を設置

令和7年4月開校を目指す



国際交流の推進

国際交流課

●日米草の根交流サミット 地域分科会

（新規）1,140千円 【内示資料No.38】

日米友好を目的に行われる「日米草の根交流サミット」の和歌山市地域分科会を開催し、両国市民の交流を通じて理解と親睦を深める

●済南市中学生スタディツアー

（新規）869千円 【内示資料No.39】

済南市からの招待を受け、学校の夏休み期間に、本市の中学生を済南市に派遣し、友好都市への理解促進を深める



H22 済南市中学生訪問団と本市中学生の交流

●台湾との交流（継続）3,779千円

台湾・台北市にある和歌山市ゆかりの施設「紀州庵」での創建記念式典での日本文化紹介やPRイベント、和歌山市で開催する「台湾のタベ」等を通じて、相互の国際理解に繋がる文化交流を行う



紀州庵（台湾・台北市）

子供たちが
いきいきと育つまち

子育てに係る経済的支援の強化

18歳までのこども医療費の完全無償化の継続と併せ、小学校給食費の無償化を恒久化するほか、産前産後期間の保険料減額、出産・子育て応援給付金の支給など、子育て世帯に対する経済的負担の軽減を図ることで、子供の健やかな成長を育み、安心して子育てができるよう支援を強化します。

経済的支援

● 高校生までのこども医療費無償化

(継続) 1,527,106千円 こども家庭課

18歳(年度末年齢)まで医療費を助成し、安心して子供を産み育てられる子育て環境の充実を図る



【内示資料No.48】

● 小学校給食費の無償化(新規) 907,907千円 保健給食管理課

令和6年度以降、市立小学校及び義務教育学校(前期課程)の給食費を無償化

● 就学援助の充実(継続) 176,223千円 学校支援課

経済的な支援を必要とする家庭に学用品や修学旅行などにかかる費用の一部を援助

● 産前産後期間の保険料減額 国保年金課

(新規) 2,278千円 【内示資料No.40】

出産する被保険者の国民健康保険料(所得割保険料及び被保険者均等割保険料)について、産前産後期間相当分(4か月間(多胎妊娠の場合は6か月間))を減額

● 出産育児一時金(継続) 112,344千円 国保年金課

国民健康保険の被保険者が出産された際、一児につき48.8万円(産科医療補償加入登録有りの場合50万円)を支給

地域保健課

● 出産・子育て応援給付金(継続) 259,471千円

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠届出時と出生届出後に給付金を支給

● 一時預かり利用者の負担軽減

(継続) 2,098千円 保育こども園課

所得の低い世帯や支援が必要な児童がいる世帯等の一時預かりに関する利用料を軽減(上限額 日額1,500円~3,000円)

妊産婦・子育て世帯・子供への相談支援

これまでの子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の機能等は維持したまま、全ての妊産婦、子育て世帯、子供へ継続的に一体的に相談支援体制を強化するため、こども家庭センターを設置します。

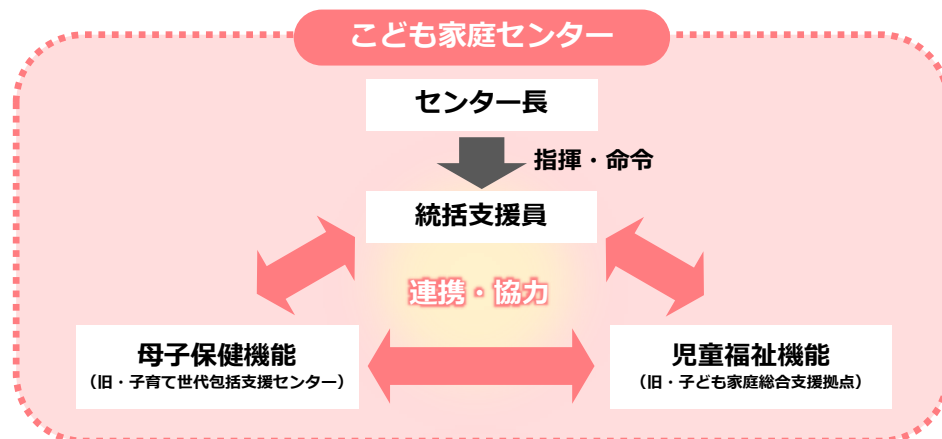
児童福祉と母子保健の一体的支援

こども家庭センター (R6)
(こども総合支援センター (R5))
地域保健課

【内示資料No.41】

● こども家庭センターの設置（新規） 1,193千円

全ての妊産婦・子育て世帯・子供に対し、ワンストップで相談支援を行う機関を設置。児童福祉と母子保健がそれぞれの専門性に応じた業務を実施しながら連携・協力し、一体的で切れ目のない支援に



切れ目のないアプローチ
ニーズに合わせた支援を実施

妊産婦
子育て世帯
子供

児童福祉機能（旧・子ども家庭総合支援拠点） （継続） 192,418千円

- 要保護児童対策地域協議会（相談業務・他機関との連絡調整）
- 母子生活支援事業
- 助産施設事業
- 子育て短期支援事業
- 前向き子育てプログラム推進事業
- 里親事業
- 就学前児童への啓発プログラム
- 子育て支援訪問事業
- ヤングケアラー事業（拡充）
- 小児精神科医アドバイザー事業
- 地域等子育て相談業務
- 養育支援訪問事業

母子保健機能（旧・子育て世代包括支援センター） （継続） 26,285千円

- 妊娠届出の受理・母子手帳の交付
- 出産・子育て応援給付金事業における伴走型支援
- 妊産婦、乳幼児等の実情及び要支援者の把握・関係機関との連絡調整
- 妊産婦や乳幼児、育児相談等各種相談に応じ、情報提供・助言・保健指導の実施

切れ目のない支援網の構築

妊娠時から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援を実施し、子育て世代の不安感の軽減を図ります。また、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・機運の醸成に取り組むとともに、結婚に伴う新生活にかかる費用を補助するなど、ライフステージに合わせた支援に取り組みます。

妊産婦等へのきめ細かな支援

地域保健課

● 妊産婦健康診査費用の助成（継続）244,138千円

妊産婦の健康管理の充実、経済的負担の軽減を図る

● 産後ケアサービスの提供（継続）3,723千円

産後のお母さんと赤ちゃんを産科医療機関において宿泊や通所（デイサービス）で母子ケアや授乳指導・育児相談等きめ細やかな支援を実施



● こんにちは赤ちゃん事業（継続）13,665千円

訪問員（保健師、助産師、看護師、保育士）が自宅に伺い、子育て情報の提供や育児、産後の生活などの相談を実施

● 乳幼児の健康診査の実施（継続）30,010千円

乳幼児の病気や障害等を早期に発見し、健全な発育を促進するため、4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳6か月児、3歳児に健康診査を実施

● 乳幼児発達相談事業（継続）7,962千円

● 5歳児相談事業（継続）5,876千円

ライフステージを通した子育て支援

子育て支援課

● わかやまKoiむすび（継続）2,509千円

結婚を希望しているが、出会いの機会が少ない方にお見合い型とイベント型の出会いの機会を提供

● 新生活をスタートさせる新婚世帯の支援（継続）45,000千円

結婚に伴う新生活にかかる費用の一部を補助し、結婚を後押し

● しあわせたく3未来ギフト（継続）2,688千円

第3子以降の出産に対する奨励に木のおもちゃを贈呈



● 親子の交流の場の提供（継続）75,070千円

未就園児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う

● 子育てプランナーによる支援（拡充）7,746千円

子育て家庭の個別のニーズを把握し、教育・保育施設及び地域子育て支援事業等の利用にあたっての情報提供、相談、利用支援を行うとともに関係機関との連絡調整等を実施

【内示資料No.42】

「仕事と子育て」の両立に向けた取組

若竹学級の待機児童ゼロに向け、特別教室等の「タイムシェア」を進めるとともに、保育業務の負担軽減による保育士の離職防止・人材確保や民間認定こども園の整備支援など、待機児童解消に向けた取組を引き続き推進し、子育て世帯の「仕事と子育て」の両立を図るための支援を強化します。

若竹学級の充実

● 若竹学級待機児童ゼロへの取組 青少年課

(拡充) 534,567千円 【内示資料No.43】

令和6年度から図書室などの特別教室等の「タイムシェア（一時利用）」を若竹学級と学校で進め、必要な指導員を配置

特別教室等の「タイムシェア」で 待機児童ゼロへ



待機児童の解消

● 保育環境の強化 保育こども園課

- 保育士の処遇改善（継続）215,726千円
給与引き上げに伴う費用を交付
- 保育士確保対策事業（継続）127千円
資格取得に要した経費の一部を補助

● 保育体制の強化（継続）42,240千円 保育こども園課

私立保育所等に対して、保育士の業務負担軽減のため、清掃業務等の周辺業務を行う者を雇入れた費用の一部を補助

● 障がい児受入れ促進（継続）57,096千円 保育こども園課

● 民間認定こども園への整備補助 （継続）231,998千円 子育て支援課

保育環境の充実

保育こども園課

● 木製遊具の設置（新規）3,080千円 【内示資料No.44】

木のぬくもりを感じ、触ったときに心地よい木製遊具を公立保育所に設置



誰一人取り残すことなく健やかな成長を支える体制の構築

様々な事情で義務教育を十分に受けられなかった方のための学びの場を提供するため、夜間中学の設置に向け取り組むとともに、誰一人取り残すことなく学ぶことができるよう個別最適な支援を推進します。

誰一人取り残すことない支援体制

●特別支援教育支援員によるサポートの充実

(拡充) 203,376千円 【内示資料No.45】 学校支援課

小中学校及び義務教育学校に特別支援教育支援員を配置。低学年の児童を重点的・継続的に支援し、早い段階からきめ細かい支援を実施

特別支援教育支援員を69名から78名に増員

●医療的ケア児とその家族への支援の強化

(継続) 16,969千円 保育こども園課 / 学校支援課 / 障害者支援課

医療的ケアが必要な子供が、市立学校・こども園において安心して教育・保育が受けられるよう看護師等を派遣し、支援体制を強化
また、コーディネーターを配置し、多機関にまたがる支援の調整を行う

こども家庭センター〈R6〉 / (こども総合支援センター〈R5〉)

●ヤングケアラーへの支援(再掲) 2,183千円 【内示資料No.46】

市立の小中学校等の実態を把握するため、児童・生徒に対しアンケート調査を実施するとともに、これまでの取組の効果を検証するため、教職員に対し、ヤングケアラーの認知度調査を実施

●小児精神科医の助言を通じた相談援助

(再掲) 360千円 こども家庭センター〈R6〉 / (こども総合支援センター〈R5〉)

誰もが学ぶことができる機会の保障

●夜間中学の設置(再掲) 2,968千円 【内示資料No.37】

入学要件や教員の配置、教育課程について検討を進めるとともに、和歌山県教育委員会とも連携を図り、令和7年4月の開校を目指す

教育政策課
学校支援課
学校教育課

「今からでも学びたい」
前向きな気持ちに応える中学校

夜間中学とは、夜の時間帯に学ぶ中学校。様々な理由により中学校を卒業していない方や不登校のためにほとんど学校に通えなかった方、本国で義務教育を修了していない外国籍の方などが学ぶことができる。



●子供の居場所づくり

●適応指導教室(ふれあい教室)の取組 学校支援課(子ども支援センター)

(拡充) 23,835千円 【内示資料No.47】

さまざまな理由で学校に行きづらい子供が、安心して過ごすことのできる「心の居場所」として、子ども支援センターにふれあい教室を設置

ICTを活用したオンライン支援を追加

●新たな居場所づくりに関する検討(新規) 子育て支援課

家庭や学校以外の子供が過ごせる居場所に関する検討

健やかな体を育む学校給食・食育の充実

小中学校の児童生徒の健康の保持増進を図るため、安全・安心な学校給食を提供し、児童生徒自身に健康や食に関心を持ってもらい、正しい食事の取り方や望ましい食習慣及び食品に関する正しい知識を身に付けてもらえるよう取り組みます。

学校給食・食育の充実

保健給食管理課

● 中学校全員給食化の推進

(継続) 687,669千円 **2月補正**

186,400千円

DBO手法により中学校給食センターの整備を行い、令和8年度の運営開始と同時に無償化を実施予定



● 小学校給食費の無償化(再掲) 907,907千円

【内示資料No.48】

令和6年度以降、市立小学校及び義務教育学校(前期課程)の給食費を無償化

● 中学校給食費を支援(継続) 8,600千円

子育て世帯への経済的支援のため、中学校の給食費の物価高騰分を支援

● オーガニック給食の推進(拡充) 511千円

【内示資料No.49】

オーガニック給食の推進のため、対象の学校を中規模校とし、拡大して実施する

未来ある子供たちの成長を
社会全体で後押し



安全・安心な教育環境の実現

学校施設の老朽化対策と子供たちの多様なニーズに応じた教育環境の向上の一体的な整備を推進。子供たちの安全・安心な教育環境を確保するとともに、災害時に避難所となる学校施設の防災機能の強化を図ります。

学校施設の安全性確保

教育施設課

● 学校施設の改修

● 学校施設の外壁改修（再掲） 1,037,522千円 2月補正

学校施設の外壁改修工事を実施することで、児童生徒等の安全を確保
※近年壁の剥落が報告されている学校や所々修繕で緊急対応している
学校が20校あり、すべて対応

● 校舎の予防改修（再掲） 528,569千円 2月補正

築30年以上の古い建物の長寿命化を図るため、屋上の防水改修や外壁改修等の予防的な外部改修工事を行う
※これまで小学校9校、中学校4校、幼稚園1園で予防改修を実施
R6は小学校3校、中学校3校、幼稚園2園で実施
R7からR17まで42校を整備予定

応急避難場所としての機能も強化



学習環境の改善

教育施設課
保健給食管理課

● 特別教室等の空調更新（継続） 86,611千円 2月補正

小学校の会議室、図工室、パソコン教室、給食室等並びに幼稚園の保育室、図書室等の空調設備の更新工事を行い、学校教育環境の改善を図る
※小学校4校、幼稚園1園

● 屋内運動場冷暖房設備の設置（拡充） 109,967千円 【内示資料No.50】

教育施設課

学校の屋内運動場に空調設備を設置することにより、生徒の熱中症対策及び災害に対する防災機能強化を図る
※R6は中学校2校を実施。R7に中学校3校の整備を計画しており、中学校全18校の屋内運動場に冷暖房が完備予定

教育施設課

● LED照明設置（継続） 111,316千円 2月補正

学校施設（屋内運動場）の照明器具のLED化を進め、学習環境の改善を図る
※小学校7校、中学校3校

教育施設課

● トイレの洋式化（継続） 616,365千円 2月補正

※小学校5校
中学校2校

全小・中学校の第1系統（各階1か所）に洋式トイレの設置が完了
第2系統について、
R6で対象59校中40校の整備が完了予定

明るい未来を育む教育の充実

子供たちが毎日をいきいきとし、将来の夢や目標を実現するために必要な「確かな学力」を身に付けられる学校づくりに取り組むとともに、日々変化していく情勢やデジタル化が進む社会に対応できるよう、個々の資質・能力を伸ばし、自らが社会の創り手となり、たくましく生き抜く力を育みます。

生き抜く力・確かな学力を育む教育

教育政策課 / 学校支援課 / 学校教育課 / 教育研究所

●地域性を生かした特色ある学校づくり（新規）

加太及び雑賀崎において、学びの連続性を重視した一貫教育を導入するプロジェクトを推進



●少人数学級の推進（継続）

学校教育課

一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導と安全安心な教育環境を実現するため35人学級を導入。4年生までに加え、令和6年度から5年生でもスタート。令和7年度に向け順次拡大

ICTを活用した学習活動

●GIGAスクール構想の着実な推進

（継続）41,435千円

学校教育課 / 教育研究所

- ・教育のハイブリッド化
- ・デジタル教科書、教材の活用
- ・プログラミング教育の推進

読書環境の充実

読書活動推進課

●市民図書館を拠点とした読書活動の推進

（継続）367,084千円

読み聞かせの実施や子供に薦めたい本の紹介、小学校への配本図書の充実、各コミュニティセンター図書室とのネットワーク充実など、市民図書館を拠点とした読書活動を推進する

●学校司書配置による学校図書館の利用促進

（継続）21,238千円

専門的な知識を持った学校司書を配置し、本を活用した授業サポートや児童・生徒への読書案内等、学校図書館を活用した教育活動の支援等を行う

教育振興基本計画の推進

教育政策課

●第3次和歌山市教育振興基本計画に基づく施策の実施（新規）

令和6年度からの5年間を計画期間とする「第3次和歌山市教育振興基本計画」を策定。人口減少、ライフスタイルの多様化といった急激な社会変化などへの対応や、こどもまんなか社会に向けた施策として、夜間中学の設置、待機児童ゼロに向けた若竹学級の充実、適応指導教室の充実、教育DXの推進などに取り組む

県都として
活力にあふれたまち

J R 和歌山駅エリア再開発

県都の玄関口である J R 和歌山駅及びその周辺において、利便性を向上させ、交通結節点としての機能を充実し、民間活力を生かした高度利用を図ることで、滞留空間が創出される等、エリア一帯をまちづくりの一つの核とするための整備に向けた取組を進めます。

● 友田町三丁目再開発計画策定への支援 (新規) 11,457千円 都市再生課 【内示資料No.51】

準備組合が実施する事業計画案作成等に対して助成するとともに、まちなかの更なる拠点整備及び賑わい創出に向け、市街地再開発事業の効果測定等を行い、活性化に寄与する施設整備を検討



友田町三丁目再開発の計画支援により
目抜き通りであるけやき大通りに賑わいを伝播



● JR和歌山駅舎、駅前広場の駅まち空間活性化 都市再生課 基本構想の策定 (新規) 30,800千円 【内示資料No.52】

県都の玄関口である J R 和歌山駅周辺エリアの活性化のため、駅周辺整備構想を策定



民間活力を生かし、高度利用を図ることで、
駅周辺エリア一帯を「駅まち空間」として創出

駅まち空間とは：駅や駅前広場と一体的に、周辺市街地との関係も踏まえ、必要な機能の配置を検討することが期待される空間のこと

南海和歌山市駅周辺グランドデザイン

南海和歌山市駅周辺においては、これまでの取組により賑わいを生みだしている拠点に加え、民間資本により魅力的な都市空間を目指す旧市民会館跡、駅前再生、周辺に存在する自然資源との一体的な利活用を推進するためのグランドデザインを描きながら、更なる魅力を創出するとともに、その賑わいを面的に拡げるための取組を進めます。



新たな拠点整備に併せ、
駅前施設等との一体的な利活用による
グランドデザインを描く



- **旧市民会館跡活用（継続）2,681千円** 都市再生課
優先交渉事業者と事業契約を締結するとともに、早期の供用開始に向け、事業計画の具体化を目指す
- **市堀川かわまちづくりの推進（継続）** 河川港湾課
- **南海和歌山市駅前再開発の検討支援（継続）** 都市再生課
- **有吉佐和子記念館の運営（継続）** 文化振興課
- **紀の川緑地の整備検討（継続）** 公園緑地課
グラウンドや広場のリニューアルをはじめ、スポーツ施設や水辺で親しむエリア等の整備を検討
- **河西橋の架け替え（継続）654,173千円** 道路建設課
令和7年度供用開始予定

徳川御三家の居城 和歌山城の更なる魅力向上

和歌山城のかつての姿の再現を目指し、歴史的価値の顕在化や景観づくりに取り組むことで、史跡としての魅力向上に努め、これまで以上に市民にも来訪者にも愛される、魅力あふれる和歌山城を目指します。また、観光面でのキラーコンテンツとして和歌山城をこれまで以上に活用できるよう、魅力の向上と併せてPR強化による誘客促進を図ります。



史跡和歌山城の歴史的魅力度向上

和歌山城整備企画課

● 扇の芝の整備 【内示資料No.53】 (拡充) 289,689千円

新たに4画地を公有化し、公有化済みで建物が撤去された地区から整備を実施



整備イメージ

● 北辺櫓群の整備検討 (新規) 15,562千円 【内示資料No.54】

北辺櫓群の整備に向け、二の丸北面・西面石垣測量調査及び櫓台部分の発掘調査を行う



整備イメージ

城内の景観・安全性向上

● 第35回全国「みどりの愛護」のつどい開催事業

(新規) 22,816千円 【内示資料No.55】 公園緑地課 / 和歌山城整備企画課

「みどりの日」制定の趣旨を踏まえ、平素から緑の保全育成に携わる方々が全国から一同に集い、広く都市緑化意識の高揚と緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進することを目的として開催

● 岡口門の耐震診断 (新規) 9,240千円 【内示資料No.56】

和歌山城整備企画課

誘客促進・にぎわいの創出

和歌山城整備企画課

● 和歌山城のPR強化 (再掲) 1,312千円 【内示資料No.32】

「お城好き」をターゲットに絞った効果的なPRを行うため、「大阪・お城フェス」に加え、新たに日本最大のお城イベントである「横浜お城EXPO」に出展

● 茶室紅松庵落成50周年記念事業 (新規) 230千円 【内示資料No.57】

茶室紅松庵落成50周年を記念し、紅松庵と松下幸之助氏に焦点を当てたわかやま歴史館での企画展示や、茶室での記念茶会を行う

光で彩るナイトタイムエコノミー

R5よりスタートしたけやき大通りでのイルミネーションとの連携をはじめ、まちなかを中心としたイルミネーションやライトアップなど、“光”の演出を用いた仕掛けづくりにより回遊の楽しさや魅力を向上させることで、冬季・夜間の閑散期における誘客促進と滞在時間の延伸及び消費額の拡大を図り、夜のにぎわいの創出及び地域経済活動の振興につなげるための取組を推進します。



夜間の魅力向上

● JR和歌山駅周辺イルミネーション (継続) 4,889千円 商工振興課

市民及び来街者を駅前滞りさせ、JR和歌山駅周辺の活性化を図るため、JR和歌山駅周辺にイルミネーションを設置



● 水辺のライトアップ (継続) 602千円 まちなみ景観課

市堀川周辺の水辺の魅力向上させ、にぎわい創出と回遊性向上を図る



● 天守閣の夜間活用 (継続) 和歌山城整備企画課

夜間に天守閣を事業者等に貸し出し、市のシンボルである和歌山城に相応しい文化・観光振興、にぎわい創出および夜間の魅力向上を図る



夜間消費の拡大促進・コンテンツ造成

【内示資料No.30】 観光課

● 稼げる観光コンテンツ創出支援 (再掲) 3,146千円

万博開催を契機とし、稼げる観光コンテンツの充実を図るため、様々なノウハウ・アイデアを持つ民間事業者が積極的にコンテンツを造成できる仕組みとして補助金を創設

● 商店街等の活性化・ ナイトタイムエコノミー推進 (拡充) 4,000千円 【内示資料No.58】 商工振興課

商店街の組合や個店が魅力発信のため新たに実施する事業や、夜の経済活動を振興させるための事業に対し助成。R6より、けやき大通りイルミネーションと連携した事業については上乗せして助成



スポーツ等への参加促進

本市最大のスポーツイベントである和歌山ジャズマラソンの開催やサイクリングの推進などを通じ、市内外からのスポーツへの参加を促進するとともに、様々な世代が多様なスポーツ等に取り組めるような施設の整備を進めることで、健やかで明るい市民生活の形成につなげます。

スポーツへの参加促進

スポーツ振興課

●和歌山ジャズマラソンの開催（再掲）[※] 23,448千円

「和歌山ジャズマラソン」の開催を通じ、市民のスポーツ意識及び体力の向上を図る。今年度もゲストランナーを迎えるなど、さらなる大会の魅力向上に努める



●サイクリングの推進（再掲）[※] 945千円

泉州地域と連携した周遊スタンプラリーにより、サイクリストの相互誘客を図る

※ p21 「スポーツツーリズムの推進」の内数

スポーツ環境の向上

スポーツ振興課

●体育館照明のLED化（継続）999千円

河南総合体育館の照明器具についてLEDへ改修を行い、スポーツ環境の改善を図る

更なる施設の充実

●つつじが丘総合公園の整備

（継続）136,020千円 スポーツ振興課

R6は「にぎわい・スポーツ公園ゾーン」及びリニューアルする「中央公園」の整備工事を進める



整備イメージ

スポーツ振興課

●(仮称)梅原広場の活用検討

（新規）4,972千円 【内示資料No.63】

民間との連携のもと、災害時にも活用でき、あらゆる世代が利用できるレクリエーションなどの場となる多目的広場の段階的な整備について検討



(仮称)梅原広場の活用検討

和歌山大学前駅

●紀の川緑地の整備検討（再掲）

公園緑地課

グラウンドや広場のリニューアルをはじめ、スポーツ・アクティビティ施設、散策や水辺で親しむエリア等の整備を検討

地域公共交通網の維持・充実

公共交通不便地域における代替交通の導入や基幹公共交通軸へのアクセスの維持構築を行い、各拠点をつなぐ公共交通ネットワークを形成するとともに、さらなる利便性の向上等の取組を推進することで、地域公共交通網の維持・充実を図ります。

●バス路線維持への支援（拡充）20,135千円 【内示資料No.59】

交通政策課

事業者の経営努力だけでは維持することが困難となった路線である坂田線へのこれまでの支援に加え、令和6年9月末廃止予定の3路線（六十谷線、鳴神線、雑賀崎循環線）に対しても新たに支援を行うことで路線を維持し、住民や観光客等の移動手段を確保

●地域バスへの支援（拡充）26,627千円 【内示資料No.60】

交通政策課

バス路線が廃止となった地域などにおいて、鉄道や路線バスと地域とをつなぐ地域バス（紀三井寺団地線、有功線、木本・西脇線）の運行を支援し、持続可能な公共交通ネットワークの形成を図る

●今後の和歌山電鐵貴志川線維持に向けた対策の検討（新規）3,099千円 【内示資料No.61】

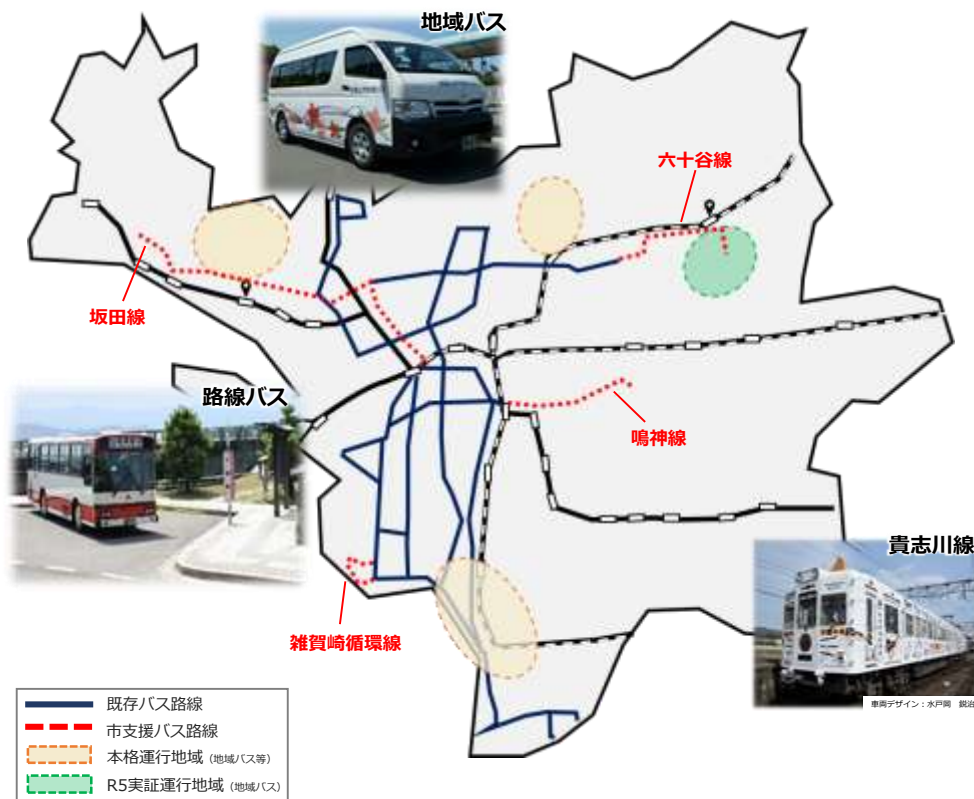
交通政策課

令和8年度から令和17年度までの10年間で行うべき利用促進や利便性の向上対策などを検討するとともに、安全輸送を確保するために必要な費用の検証など、安定的かつ継続的に運営できるための調査を実施

●紀ノ川駅周辺バリアフリー化（継続） 交通政策課

交通政策課

地域公共交通網



未来をつくるモビリティ

JR和歌山駅～和歌山城～南海和歌山市駅の3拠点で繋がれるまちなかエリアについて、自動運転などの新たな技術・新モビリティを活用した利便性の向上とにぎわいの創出を図ります。また、さらなる利便性の向上に向け、長期的な視点で、MaaS導入に向けての検討等を行います。

持続可能な新モビリティの導入

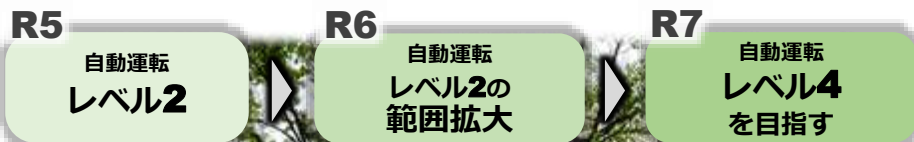
● けやき大通りににおける 自動運転バス導入の検討（継続）

交通政策課

令和5年度に実施した自動運転レベル2の実証実験の実証範囲の拡大に向け検討
令和7年度、一定区間における自動運転レベル4の実証運行を目指す



2/14から2/18まで
自動運転レベル2の実証実験中



イメージ

さらなる利便性の向上に向けて

交通政策課

● MaaS導入に向けての検討（継続）

関西の主要鉄道事業者が共同構築した「KANSAI MaaS」アプリとの連携について、市内公共交通機関と調整
また、2025大阪・関西万博への連動・活性化などを検討

● LRT導入可能性の検討（継続）

新たにLRTの運行を開始した宇都宮市など他都市の事例を研究しながら課題解決等、長期的なビジョンで検討



宇都宮市LRT

令和6年度当初予算の概要

○ 一般会計予算

150,230,390 千円

2年連続収支均衡 26年ぶり

増減率

増減額

(2.8%)

(4,108,903千円)

2.0%

2,964,603千円

○ 特別会計予算

96,112,040 千円

増減率

増減額

△3.5%

△3,509,272千円

○ 公営企業会計予算

41,503,608 千円

増減率

増減額

(5.0%)

(1,960,194千円)

5.0%

1,994,594千円

○ 予算合計

287,846,038 千円

増減率

増減額

(0.9%)

(2,559,825千円)

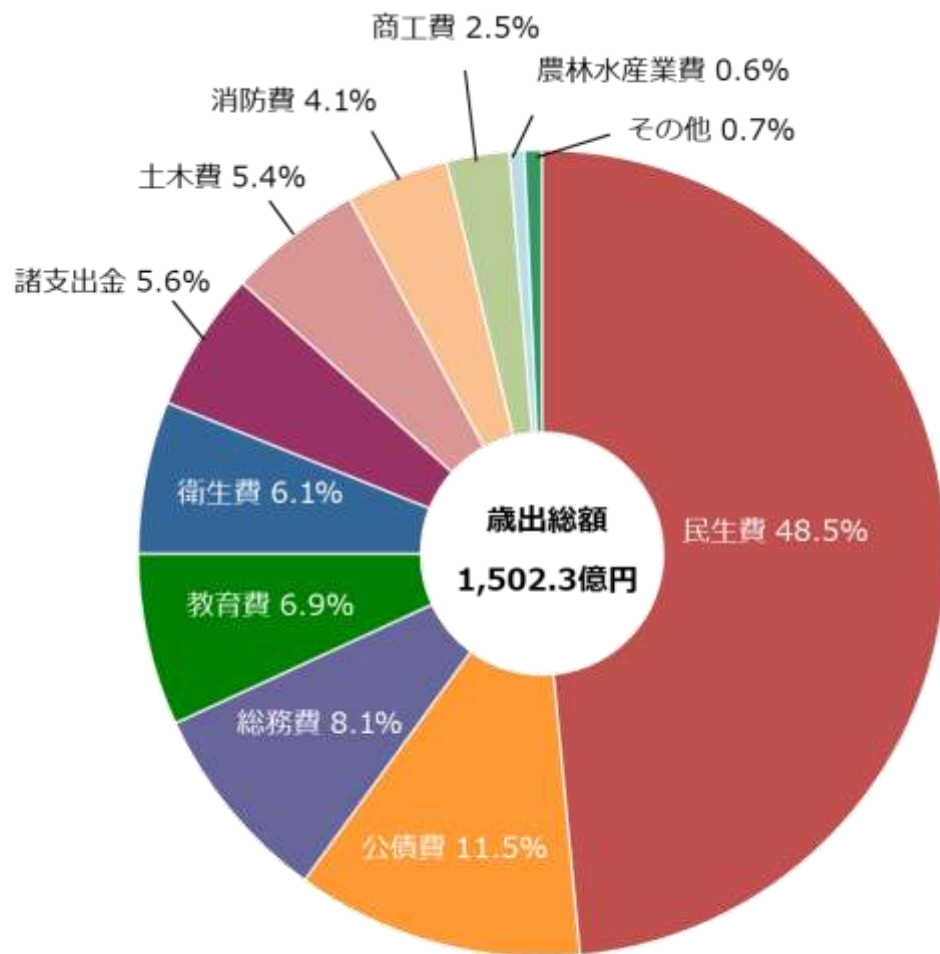
0.5%

1,449,925千円

()内は、借換えの対象となった元金償還金を除いた額です。

一般会計歳出の状況（目的別）①

（1）款別予算額の構成比



構成比の前年度からの増減

増

- ◆教育費 +0.7ポイント
(6.2%→6.9%)
- ◆総務費 +0.5ポイント
(7.6%→8.1%)
- ◆民生費 +0.1ポイント
(48.4%→48.5%)

減

- ◆公債費 △0.9ポイント
(12.4%→11.5%)
- ◆商工費 △0.4ポイント
(2.9%→2.5%)

一般会計歳出の状況（目的別）②

（2）款別予算額の年度間増減

前年比29.6億円
（+2.0%）

令和5年度	令和6年度
1,472.7億円	1,502.3億円

増



減

- ◆ **民生費 +15.2億円（+2.1%）**
 - ・ 障害福祉サービスに係る給付 +10.4億円
 - ・ 保育施設への給付 +6.6億円
 - ・ こども医療費の無償化 +2.0億円
- ◆ **教育費 +12.9億円（+14.3%）**
 - ・ コミュニティセンターの整備 +7.3億円
 - ・ 小学校給食費の無償化 +5.3億円
 - ・ 中学校給食センターの整備 +1.8億円
- ◆ **総務費 +8.4億円（+7.4%）**
 - ・ 退職手当 +7.0億円
 - ・ ふるさと納税に係る返礼品等 +3.8億円
 - ・ 統一地方選挙及び衆議院議員補欠選挙 △3.0億円
- ◆ **消防費 +5.2億円（+9.3%）**
 - ・ 高機能消防指令システム等の更新 +4.9億円

- ◆ **公債費 △9.2億円（△5.0%）**
 - ・ 借換えによる一括償還分 △11.4億円
 - ・ 臨時財政対策債償還費 +1.7億円
- ◆ **その他（商工費等） △5.2億円（△8.4%）**
 - ・ 友ヶ島野奈浦栈橋架替工事費の皆減 △5.7億円

一般会計歳出の状況（性質別）①

（1）性質別予算額の構成比



（ ）は前年度の割合

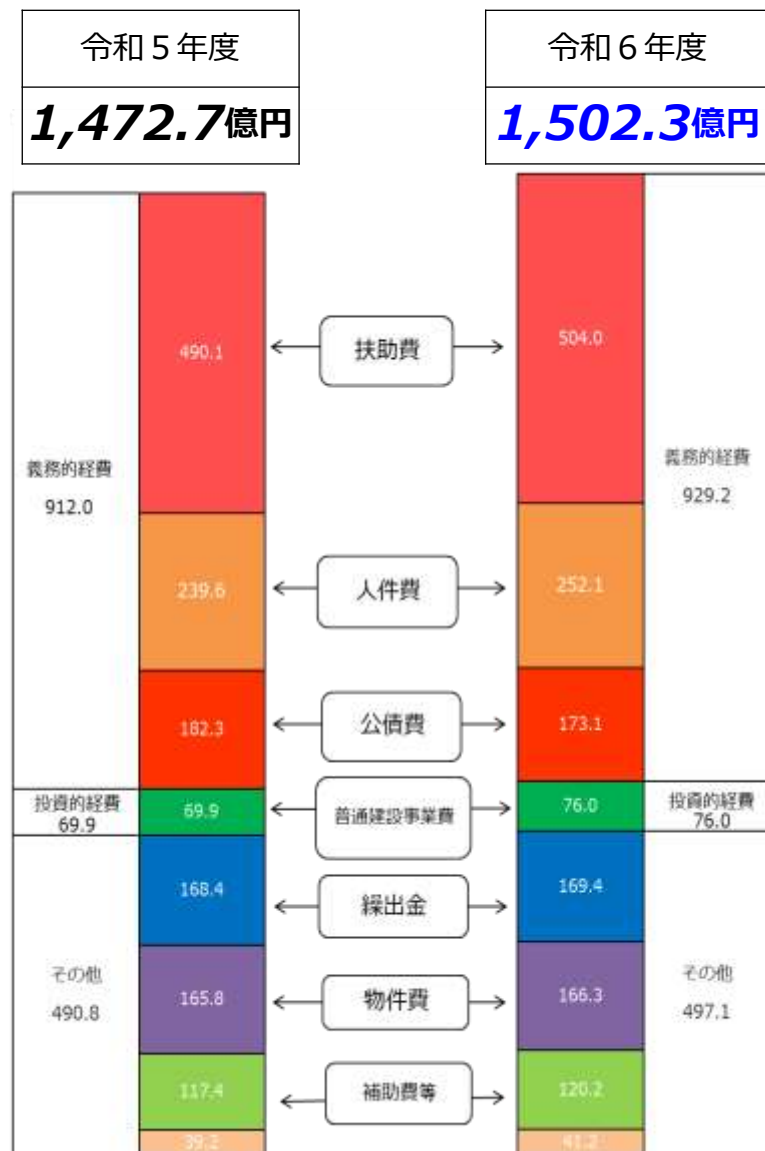
○ 義務的経費の割合	61.8% (62.0%)
○ 投資的経費の割合	5.1% (4.7%)
○ その他の割合	33.1% (33.3%)

- ◎ 割合が増加
人件費・普通建設事業費など
- ◎ 割合が減少
公債費・物件費など

一般会計歳出の状況（性質別）②

（2）性質別予算額の年度間増減

前年比+29.6億円（+2.0%）



◆義務的経費 +17.2億円（+1.9%）

- ・扶助費 +13.9億円（+2.8%）
障害福祉サービスに係る給付 +10.4億円
保育施設への給付 +6.6億円
新型コロナウイルス感染症に係る入院費及びPCR検査費用等の公費負担 △2.8億円
- ・人件費 +12.5億円（+5.2%）
退職手当 +7.6億円 職員人件費 +1.1億円
会計年度任用職員人件費 +4.1億円
- ・公債費 △9.2億円（△5.0%）
借換えによる一括償還分 △11.4億円
臨時財政対策債償還費 +1.7億円

◆投資的経費 +6.1億円（+8.8%）

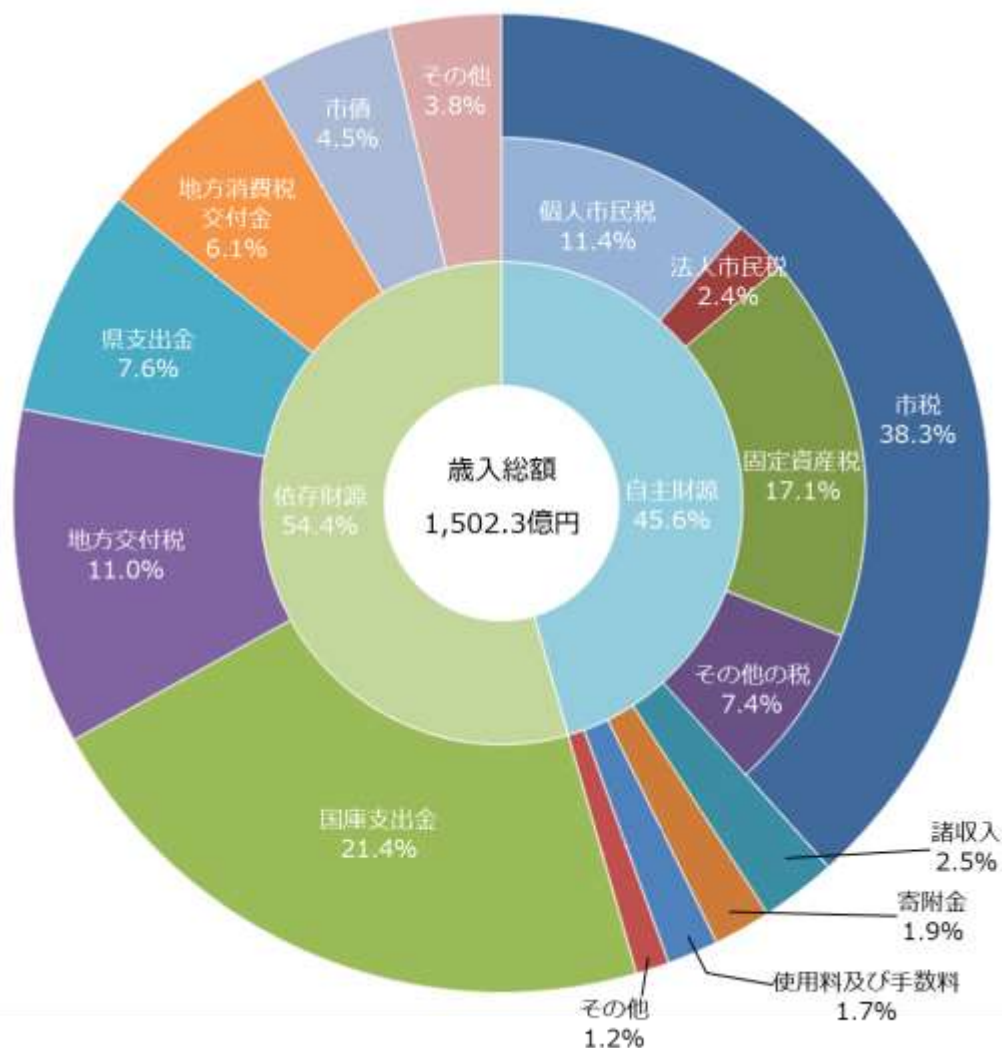
- コミュニティセンターの整備 +7.3億円
- 高機能消防指令システム等の更新 +4.9億円
- 友ヶ島野奈浦栈橋架替工事費の皆減 △5.7億円

◆その他 +6.3億円（+1.3%）

- ・補助費等 +2.8億円（+2.4%）
小学校給食費の無償化（保護者負担分の支援） +6.6億円
介護施設等開設準備経費の助成 △2.4億円
夜間・休日応急診療センター交付金 △0.9億円
- ・物件費 +0.5億円（+0.3%）
システム標準化に伴う経費 +2.6億円
燃料費下落による光熱水費等の減 △2.5億円
- ・その他（維持補修費等） +2.0億円（+5.1%）
青岸エネルギーセンター発電機修繕 +2.8億円

一般会計歳入の状況①

(1) 自主財源と依存財源の割合



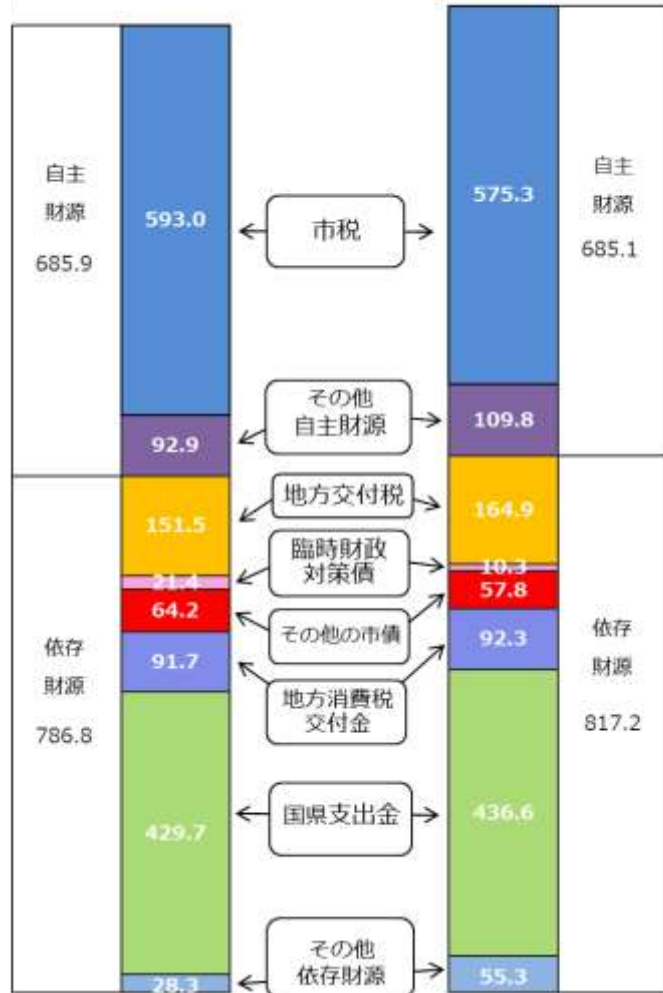
() は前年度の割合

- **自主財源 685.1億円**
構成比 45.6% (46.6 %)
- **依存財源 817.2億円**
構成比 54.4% (53.4 %)

一般会計歳入の状況②

(2) 年度間増減

令和5年度	令和6年度
1,472.7億円	1,502.3億円



自主財源 $\Delta 0.8$ 億円 ($\Delta 0.1\%$)

○市税 $\Delta 17.7$ 億円 ($\Delta 3.0\%$)

- ・個人市民税の減 $\Delta 19.3$ 億円
(個人市民税の増 $+5.6$ 億円 定額減税による減収 $\Delta 24.9$ 億円)
- ・法人市民税の減 $\Delta 4.3$ 億円
- ・都市計画税の増 $+4.8$ 億円

○その他(寄附金等) $+16.9$ 億円 ($+18.2\%$)

- ・ふるさと納税の増 $+8.4$ 億円
- ・退職手当基金繰入金 $+5.2$ 億円

依存財源 $+30.4$ 億円 ($+3.9\%$)

○国県支出金 $+6.9$ 億円 ($+1.6\%$)

- ・障害福祉サービスに係る給付費等負担金 $+5.1$ 億円
- ・施設型給付費等交付金 $+3.0$ 億円
- ・県議会議員選挙及び衆議院議員補欠選挙 $\Delta 1.6$ 億円

○地方交付税 $+2.3$ 億円 ($+1.3\%$)

(臨時財政対策債を含む。)

○市債 $\Delta 6.4$ 億円 ($\Delta 9.9\%$)

(臨時財政対策債を除く。)

- ・借換債の減 $\Delta 11.4$ 億円
- ・コミュニティセンター建設事業債の増 $+5.1$ 億円

○その他(地方特例交付金等) $+27.0$ 億円 ($+95.4\%$)

- ・定額減税減収補填特例交付金 $+24.9$ 億円
- ・株式等譲渡所得割交付金 $+2.5$ 億円